


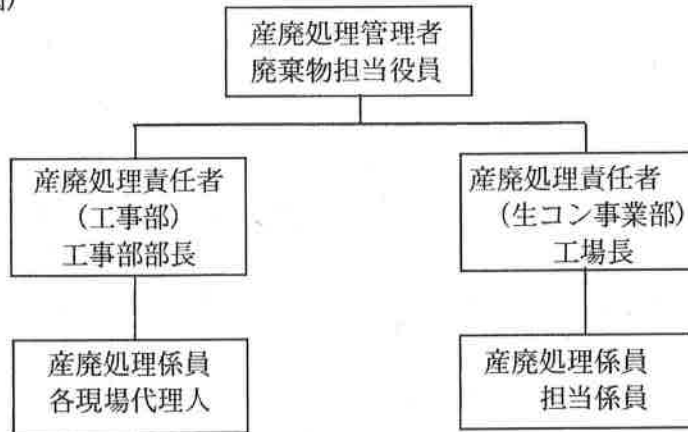
様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 5月31日	
都道府県知事 (市長) 大分県知事 殿	
提出者 住 所 大分県津久見市大字上青江3748番地の1 氏 名 拓州建設株式会社 代表取締役 川上富博 電話番号 0972-82-1311	
	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	拓州建設株式会社
事業場の所在地	大分県津久見市大字上青江上青江3748番地の1
計画期間	2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業・製造業
②事業の規模	総合工事業 円581,000,000 製造業 円268,000,000
③従業員数	46人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	総合工事業 産業廃棄物発生→収集運搬→処分 製造業 コンクリート練り混ぜ→ミキサー車へ積込→工事現場へ運搬 →残コンクリート持帰り→生コンクリート分離 →セメント分脱水処理

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（      2023年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

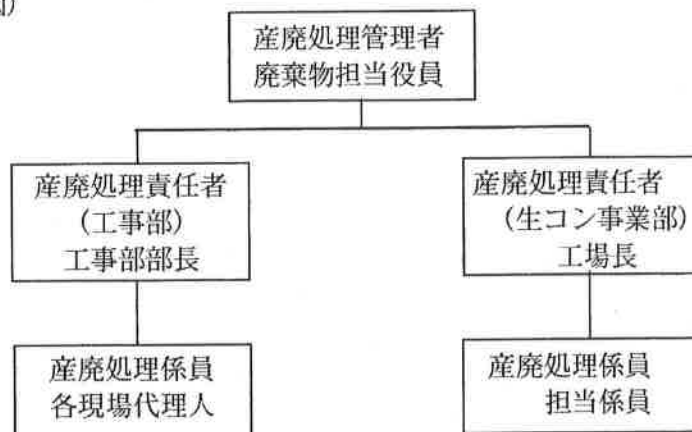
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（      2023年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

## (第5面)

②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ
	排 出 量	1,887 t	1,007 t
	（これまでに実施した取組） 受注産業であるため、これと言った取組み無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ
	排 出 量	1,793 t	772 t
	（今後実施する予定の取組） トロンメル（回収設備）の清掃を、2ヵ月に1回行い、細骨材（砂）の回収率を高める。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがらの分別に粗さがある。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがらを入念に分別し、再生利用料を増加させる。

## 別紙 1 - 2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	生コンスラッジ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	449 t
	(これまでに実施した取組) 受注産業であるため、これと言った取組み無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	生コンスラッジ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	344 t
	(今後実施する予定の取組) トロンメル（回収設備）の清掃を、2 ヶ月に 1 回行い、細骨材（砂）の回収率を高める。		

## 別紙 1 - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ
	全 処 理 委 託 量	1, 8 8 7 t	1, 0 0 7 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1, 8 8 7 t	5 5 8 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) トロンメル（回収設備）の清掃回数を、増やし細骨材（砂）の回収率を高めた。		



## 別紙 1 - 4

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ
	全 処 理 委 託 量	1, 7 9 3 t	7 7 2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1, 7 9 3 t	4 2 8 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、 熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。		
	※事務処理欄		

## 別紙 2 - 1

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	排 出 量	1 1 t	1 t
	(これまでに実施した取組) 工法の改善。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	排 出 量	1 0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 ① 梱包材の簡素化。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施する。

## 別紙 2 - 2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（    ー    年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（    ー    年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

別紙 2 - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（    2023    年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	1 1 t	1 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1 1 t	1 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。		

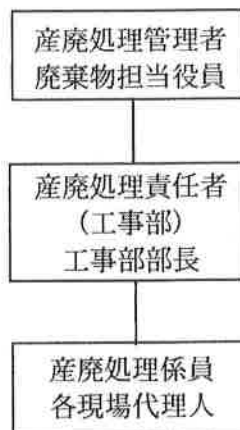
別紙 2 - 4

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	1 0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 0 t	1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。		
	※事務処理欄		

## 別紙 3 - 1

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず
	排 出 量	48 t	79 t
	(これまでに実施した取組) 工法の改善。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず
	排 出 量	46 t	75 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 ① 梱包材の簡素化。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施する。

別紙 3 - 2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

別紙 3 - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（      2023      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	4 8 t	7 9 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	4 8 t	7 9 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。		



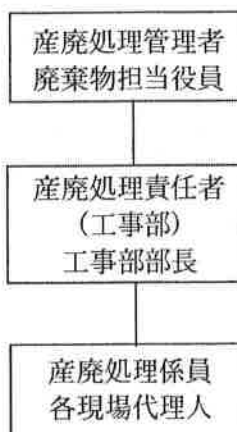
## 別紙 3 - 4

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	4 6 t	7 5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4 6 t	7 5 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。		
	※事務処理欄		

## 別紙 4 - 1

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排 出 量	69 t	2 t
	(これまでに実施した取組) 工法の改善。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排 出 量	66 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 ① 梱包材の簡素化。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施する。

## 別紙 4 - 2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 別紙 4 - 3

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	全 処 理 委 託 量	6 9 t	2 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	2 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	6 9 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。		

## 別紙 4 - 4

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず*	繊維くず*
	全 処 理 委 託 量	6 6 t	2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	2 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	6 6 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。		
	※事務処理欄		